



みんな一緒に避難しよう ~神戸真陽小学校編~

関西大学近藤研究室・チームSKH

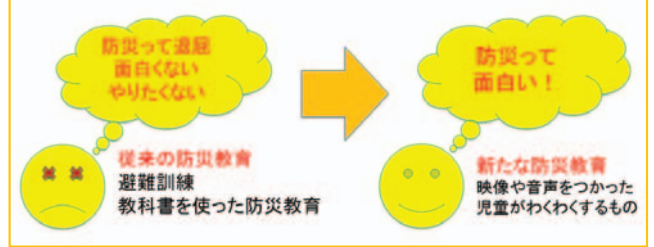
【関大】:折田彩夏・小泉 遼・上田清加 【真陽小】:橘 佳秀・井手 ますみ

災害情報研究室(近藤ゼミ)
kondo.s@kansai-u.ac.jp

問題意識

■ 東日本大震災では、520人を超える児童・生徒・学校関係者が命を落とした(文部科学省, 2015)。こうした悲しい出来事を二度と繰り返さないために、**防災教育を推進することが急務**となっている(たとえば、片田, 2012)

■ 神戸市長田区になる真陽小学校は津波発生時の指定避難所になっている。しかし、内閣府の最悪想定では浸水するとされており、児童の防災意識を向上させることが求められている。



制作過程

校内放送「見て聞いて」真陽こども放送局(SKH) 毎日、昼休み(昼食時)に5分~10分程度、放送。 5年生と6年生のペアで担当。ふだんは、昼の献立、音楽やお知らせ等を伝えている。

【小5~6年児童各1人】+【大学生】 月1回ネタの打合せ⇒ 大学生が清書⇒ 原稿を共有⇒ 生放送で児童が放送

年間約30本放送

防災ラジオドラマの特徴

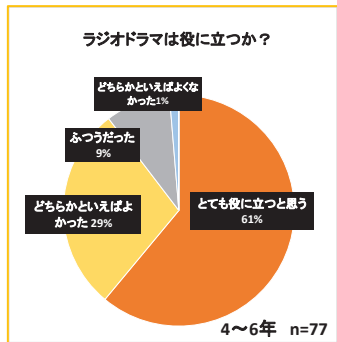
ラジオドラマの制作に参加した児童たち

放送を聴いた児童たち

- 【1】セリフを覚えながら楽しく防災を学ぶことができる
- 【2】ドラマの役を演じることで自分が防災の主役であることを実感できる
- 【1】ラジオドラマは授業よりも圧倒的に楽しい!
- 【2】シーンのつながりの中で自分がすべき行動を確認することができる



結果



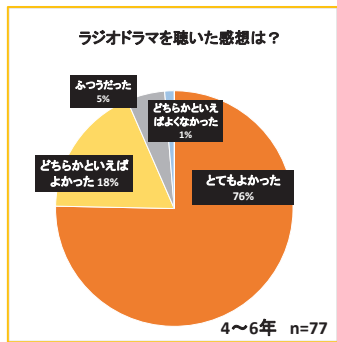
お:おさない は:はしらない し:しやべらない も:もどらない て:低学年優先

避難するときの合言葉

おはしもて

指定避難場所

水笠通公園



放送3ヵ月後の記憶テスト

お: 不正解 2%, 正解 98%

は: 不正解 0%, 正解 100%

も: 不正解 7%, 正解 93%

し: 不正解 2%, 正解 98%

て: 不正解 39%, 正解 61%

主人公たちが避難した場所は?

おぼえていること、できるだけたくさん、書き出してみよう!

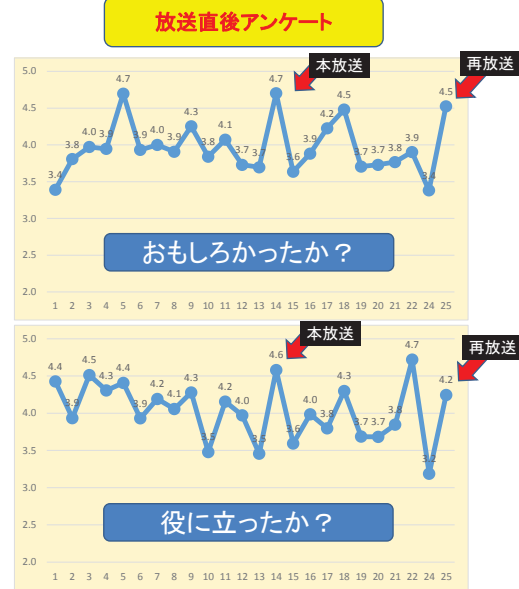
・テレビ見せけいほうみでたす 水笠通公園に ける

・自分のことをにげる 走る

・人のことは後でわら 走らな

・自転車ににげる 走らな

・はこうせんより走れる



→ ラジオドラマは、児童に好まれる。しかし、知識が定着するとは限らない。再放送する等、持続的な取り組みが必要。

課題と展望

- 今後は、地域の防災活動の取り組み内容を、ドラマのシナリオに盛り込んでいきたい。(第2弾は、2016年3月9日に放送:「地区防災計画モデル事業で確定したルールを反映」)
- ドラマ制作に参加した児童の防災意識の変容等を、追跡調査していきたい。

第6回防災コンテスト(主催:国立研究開発法人・防災科学技術研究所) 2016年3月19日発表ポスター

